



エナガ (エナガ科)

エナガが集団で園内を飛び回っています。



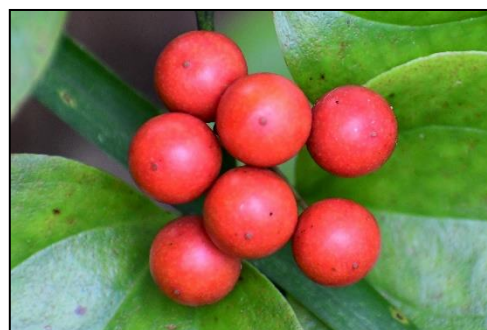
コゲラ (キツツキ科)

日本で最も小さなキツツキです。



キンモクセイの二度咲き (モクセイ科)

9月の終わり頃に一度咲いたキンモクセイが二度咲きして良い香りをまき散らしています。



サルトリイバラの実 (サルトリイバラ科)

令和4年10月上旬期のみどころでは、若い実を紹介しましたが、10月下旬では実は赤く熟しています。



トビ (タカ科)

ほとんど羽ばたかずにゆっくりと旋回しています。



シロダモ (クスノキ科)

雌株では赤い実と雌花を同時に楽しめます。



カキノキの実 (カキノキ科)

カキノキの実も熟してきました。



ジュズダマの雄花と苞鞘 (イネ科)

先端部の雄花と雌花の入っている丸い形をした苞鞘(ほうしょう)が見えます。



ガマズミの実 (レンプクソウ科)

ガマズミの実も熟してきました。



モチツツジの狂い咲き (ツツジ科)

モチツツジは比較的狂い咲きしやすい様で、春以外でも咲いている花を見かけます。



イヌザンショウの実 (ミカン科)

実が裂開して黒い種子が見え始めています。サンショウと比べてイヌザンショウは葉や実の香りが少なめです。

三木山森林公園 検索
カラー写真入りの「みどころ情報」をHPにて掲載しています

みどころ Mikiyama

令和4年10月下旬

過去の「みどころ」はHPの2ページ目以降にあります

ガマズミの実、モチツツジの狂い咲き、サルトリイバラの実等は園内各所で見られます。



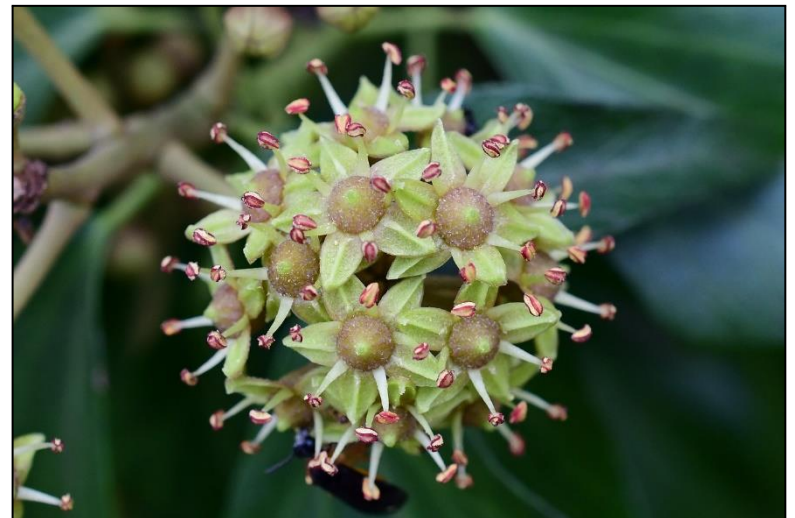
裂開したコマユミの実 (ニシキギ科)

コマユミの実の裂開が最盛期を迎え、赤い袋に包まれた種子が多く見られます。



シジュウカラ (シジュウカラ科) とムクノキ (アサ科)

シジュウカラがムクノキの実を足で押さえて食べています。



キツタの花 (ウコギ科)

常緑つる性のキツタの花が咲き始めました。花弁と雄しべは5個で、よく見るとなかなか美しい花です。